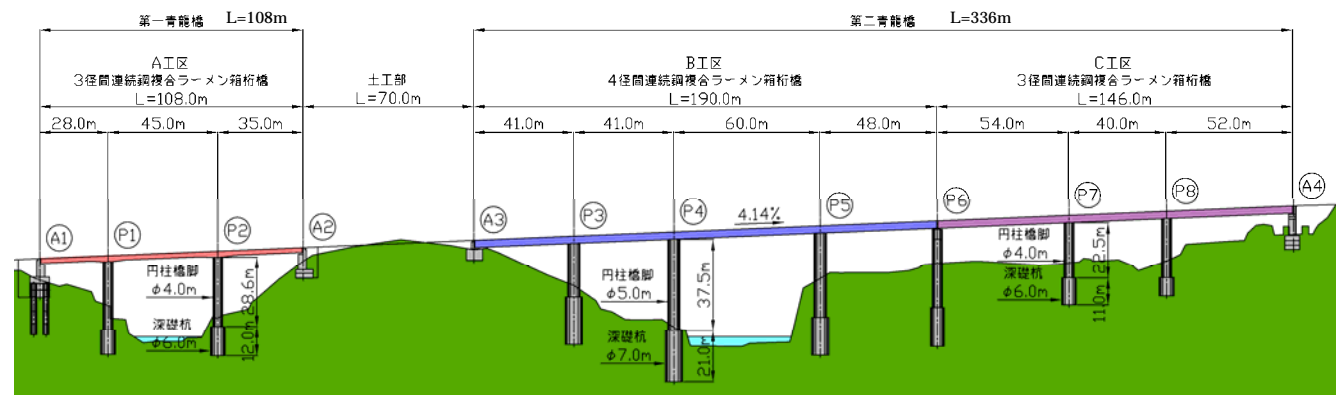
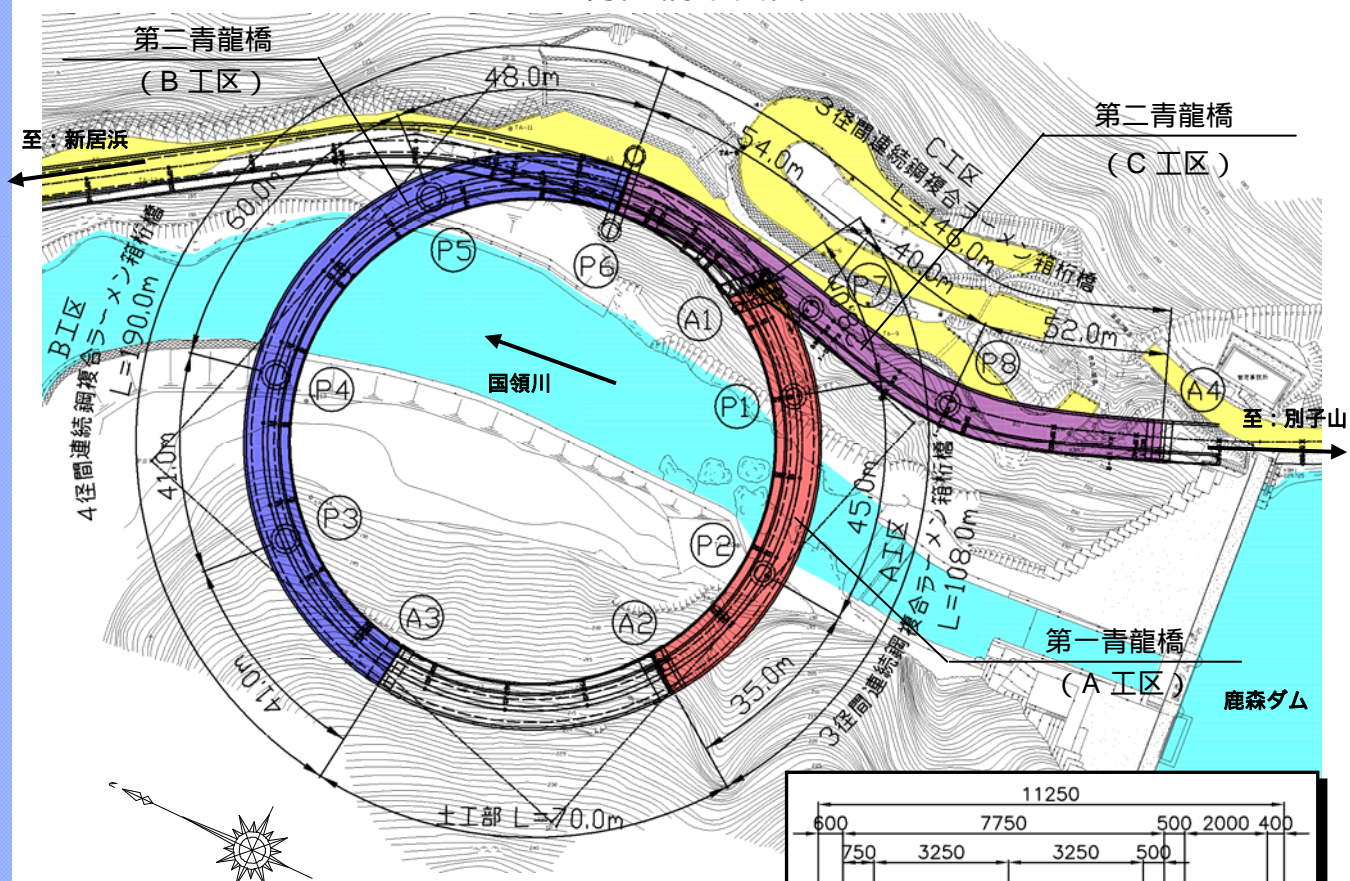


青龍橋計画図

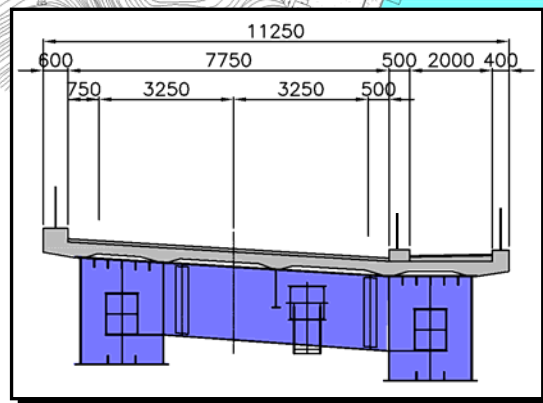
青龍橋側面図



青龍橋平面図



青龍橋断面図



愛媛県東予地方局建設部

〒793-0042 愛媛県西条市喜多川 796-1

TEL (0897)56-1300(代)

主要地方道 新居浜別子山線

せいりゅうはし

青龍橋

だいいちせいりゅうはし だいにせいりゅうはし
(第一青龍橋・第二青龍橋)

たつかわ

< 新居浜市立川町 >



手前側：第一青龍橋 奥側：第二青龍橋



手前側：第二青龍橋 奥側：第一青龍橋

事業概要

主要地方道新居浜別子山線は、新居浜市角野地区の国道11号を起点に大永山トンネルを経て別子山地区に至る延長30.9kmの地域の産業や生活を支える幹線道路で、平成15年4月に合併した新居浜市と旧別子山村を結ぶ唯一の道路となっています。また、本路線は主要地方道高知伊予三島線を経て国道319号につながる四国中央部の広域的な幹線道路網の一部を形成するとともに、災害発生時の物資輸送等に資する緊急輸送道路に位置付けられています。

さらに「マイントピア別子」、「鹿森ダム」、「清滝」、「旧別子銅山跡」、「別子観光センター」、「森林公園ゆらぎの森」、「富郷溪谷」及び「翠波高原」などを結ぶ観光周遊ルート(別子・翠波はな街道)としての役割も併せ持っています。

本区間の鹿森ダム付近は、急峻な地形で幅員も狭隘な山岳道路であり、急カーブが連続しているため、普通車の離合や大型バスの通行が困難な状況でした。これを解消し地域の発展に寄与するため、愛媛県では、平成15年度に青龍橋工区の整備に着手し、7年の期間と総事業費約39億円により、延長444mのループ橋を含む700mの道路整備が完了しました。

愛媛県

路線概要

路線名	: 主要地方道 新居浜別子山線
区間	: 愛媛県 新居浜市 立川町
延長	: L=700m (橋梁部 444m、対岸土工部 70m、取付道路部 186m)
道路規格	: 第3種 第4級
幅員	: 車道 2.75m × 2車線 (曲線拡幅 0.5m × 2あり) 片側歩道 2.0m
設計速度	: V=30 km/h
縦断勾配	: i=4.14%
最小曲線半径	: R=65m

青龍橋整備効果

(1) 安全性の向上

線形改良と幅員の拡幅による車両交通の安全性の向上
歩道設置による歩行者の安全性の向上

(2) 地域の活性化の促進

交流人口の拡大 災害時の通行確保 救急医療体制の強化

(3) 観光の振興

広域観光の誘発(別子・翠波はな街道) 観光資源としての青龍橋

(4) 市町村合併への支援

新居浜市と旧別子山村の一体性の向上



幅員が狭く急カーブのトンネルが連続し、離合・大型車の通行が困難な現道

青龍橋構造概要

第一青龍橋

形式 3径間連続鋼複合ラーメン橋 (橋長 L=108.0m)

第二青龍橋

形式 4径間連続鋼複合ラーメン橋 (橋長 L=190.0m)

3径間連続鋼複合ラーメン橋 (橋長 L=146.0m)

有効幅員 : B=9.25m ~ 10.25m

曲線半径 : R=65m

~ 青龍橋構造概要 ~

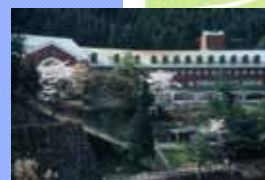
架橋位置はダム直下の渓谷部であるため、橋脚高は最大=37.5m に達します。基礎構造は、山岳部であるため深礎杭および直接基礎となっています。

橋梁形式に経済性に優れた鋼箱桁を採用し(図右上)また、鋼箱桁とRC(鉄筋コンクリート)橋脚を剛結構造とすることで『耐震性の向上』と『コスト縮減』も図っています(図右下)。

さらに鋼箱桁に耐候性鋼材を採用することによって将来の維持管理費を含めたコスト縮減対策を行っています。



別子・翠波はな街道マップ



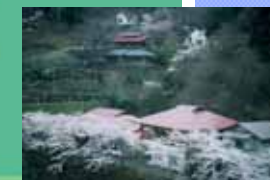
マイントピア別子端出場ゾーン



マイントピア別子東平ゾーン



森林公園ゆらぎの森



別子観光センター

施工状況



C 工区架設状況(張り出し架設)



B 工区架設状況(トラベラークレーン架設)